

進めています!自己改革



私たちは、平成28年度から農家・組合員や地域の方々の豊かなくらしを支えるため、「**農業者の所得増大**」「**農業生産の拡大**」「**地域の活性化**」の3つの目標を掲げ、具体的な目標値や行動計画を設定して、自己改革に取り組んでいます。
本年度においても、組合員・地域住民の声に基づく自己改革を実践し、農業協同組合の使命である農業所得の向上や地域農業の振興、さらには、地域に根ざした協同組合として「食」と「農」を通じた地域貢献活動に取り組んでいきます。

JAからつが取り組んでいる自己改革の一部を紹介します。

次代を担う新規就農者を確保・育成する仕組みづくりに取り組みました

受入農家		※R4年9月1日現在		
部会名	地区名	受入 農家数	研修の種類	
			短期	長期
イチゴ部会	唐津	8	6	7
	上郷	6	6	3
アスパラガス	全体	4	3	3
コネキ部会	全体	5	4	2
キュウリ部会	全体	7	5	4
トマト部会	全体	1	1	1
ナス部会	全体	1	1	0
合計		32	26	20

実績		内容		
研修名	部会	研修地	開始時期	定植時期
			いちご、アスパラ、きゅうりで実施	
長期	イチゴ	唐津市半田	R3.11	R5.9
	イチゴ	浜玉町大江	R4.4	R5.9
	イチゴ	唐津市鎮西町	R4.11	R5.9
	アスパラ	唐津市屋形石	R4.6/下	R4.4
	キュウリ	唐津市大良	R5.1	R5.3



(R3.10.27)アグリ説明会



いちご研修

JAからつで小規模トレーニングファームの設置に取り組めます

JAからつ管内では、新規園芸農家の確保に向けて、「入口」～「技術習得研修」～「出口」までの一貫した体制づくりを始めている。これまで10名の新規者(予定者含む)を確保してきたが、それ以上に、生産者の高齢化等がすすみ、生産者・栽培面積は減少している。こうした中、将来にわたり、本地域の農業を維持・発展させていくためには、新規就農者の確保・育成が極めて重要になっている。

そこで、県内に設置してある研修専用施設「トレーニングファーム」並みの研修生の育成を目指し、地域内外からの幅広い農業研修生の募集及び充実した研修内容を設置するため、令和5年度に小規模トレーニングファームの整備に取り組めます。(いちご1か所、アスパラガス1か所)